

---

---

## 第2章 食肉の仕入動向

---

---

### 1 食肉仕入動向の概況

食肉小売店における6月1カ月間・1店舗当たりの仕入数量を調査した。特に専門店では卸売を行っている店もあるが、卸売分は除くこととした。また、本調査対象店舗数の東日本と西日本の割合は、全体では57%対43%(前回40%対60%)、専門店では34%対66%(前回32%対68%)、スーパーでは59%対41%(前回43%対57%)、生協では83%対17%(前回22%対78%)となっている。

食肉小売店1店舗あたりの仕入数量は6,328kg(前回5,602kg)で、前回より増加している。これは、回答店舗数がスーパーの増加、専門店の減少となったことが一因と考えられるので、留意していただきたい。種類別構成は、牛肉が17.5%(前年11.9%)、豚肉が46.2%(前回48.9%)、鶏肉が36.2%(前回39.2%)であった。BSE発生直後の前回調査と比べると牛肉が上昇し、豚肉と鶏肉が低下した。

#### 業態別の仕入動向

業態別の仕入数量は、専門店が2,036kg(前回2,213kg)、スーパーが6,977kg(前回6,418kg)、生協が5,216kg(前回4,395kg)となっている。業態による規模の格差が反映されている(表2-1)。

種類別内訳についてみると、専門店では牛肉が30.6%(前回23.3%)、豚肉が42.5%(前回49.6%)、鶏肉が26.8%(前回27.1%)となっている。他の業態と比べて牛肉の割合が高い。スーパーでは牛肉が17.1%(前回10.9%)、豚肉が46.6%(前回49.3%)、鶏肉が36.3%(前回39.8%)となっている。生協では牛肉が14.3%(前回15.0%)、豚肉が39.6%(前回42.1%)、鶏肉が46.1%(前回42.8%)となっている。

表2 - 1 食肉の業態別仕入数量割合（1店舗・1ヵ月当たり）

	平均	専門店	スーパー	生協
回答企業数（社）	516	405	102	9
店舗数（店）	3,972	471	3,357	144
平均仕入数量（kg）	6,328	2,036	6,977	5,216
総計（％）	100.0	100.0	100.0	100.0
牛肉	17.5	30.6	17.1	14.3
国産牛肉	8.7	20.7	8.1	11.3
和牛	4.5	16.6	4.0	2.4
乳牛	3.0	1.9	2.9	7.4
その他国産	1.2	2.2	1.1	1.5
輸入牛肉	8.9	10.0	9.0	2.9
アメリカ産	4.8	4.7	4.9	1.0
オーストラリア産	4.1	5.2	4.1	1.9
豚肉	46.2	42.5	46.6	39.6
国産豚肉	38.4	34.0	38.6	38.0
輸入豚肉	7.8	8.5	8.0	1.6
鶏肉	36.2	26.8	36.3	46.1
国産鶏肉	31.4	22.2	31.3	43.9
輸入鶏肉	4.9	4.6	5.0	2.2

注：牛肉・豚肉の枝肉は部分肉ベース（歩留まり70％）として換算

表2 - 2 食肉の売上規模別仕入数量割合（1店舗・1ヵ月当たり）

	平均	500万円 未満	500～999 万円	1000～ 1999万円	2000～ 2999万円	3000万円 以上
回答企業数（社）	516	336	94	74	9	3
店舗数（店）	3,972	429	699	2,342	314	188
総重量（kg）	6,328	1,341	4,423	7,019	7,344	16,144
総計（％）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
牛肉	17.5	28.2	17.9	15.7	26.9	19.0
国産牛肉	8.7	19.7	9.4	8.3	12.5	5.4
和牛	4.5	16.1	5.0	3.9	4.6	4.6
乳牛	3.0	2.6	2.2	3.4	5.2	0.6
その他国産	1.2	1.0	2.2	1.0	2.6	0.3
輸入牛肉	8.9	8.5	8.5	7.4	14.4	13.6
アメリカ産	4.8	2.7	3.8	3.5	8.8	10.6
オーストラリア産	4.1	5.8	4.7	3.9	5.6	3.0
豚肉	46.2	48.6	49.5	46.2	45.0	43.1
国産豚肉	38.4	43.5	42.9	39.0	33.7	32.8
輸入豚肉	7.8	5.1	6.7	7.2	11.3	10.3
鶏肉	36.2	23.2	32.5	38.1	28.1	37.9
国産鶏肉	31.4	21.6	30.3	32.9	23.2	31.4
輸入鶏肉	4.9	1.5	2.2	5.2	4.9	6.4

注：牛肉・豚肉の枝肉は部分肉ベース（歩留まり70％）として換算

## 売上高規模別の仕入動向

精肉部門の売上高規模別の仕入数量を表2 - 2に示した。総じて売上高規模が大きい階層で輸入肉の割合が高くなる傾向がみられた。

## 地域別の仕入動向

精肉部門の地域別の仕入数量を表2 - 3に示した。牛肉の割合が最も高いのは中国・四国、次いで近畿、低いのは関東・東山であった。豚肉の割合が最も高いのは、北陸・東海、次いで、北海道・東北となっており、低いのは九州であった。鶏肉の割合が最も高いのは九州となっており、最も低いのは北海道・東北であった。

表2 - 3 食肉の地域別仕入数量割合（1店舗・1ヵ月当たり）

	平均	北海道・東北	関東・東山	北陸・東海	近畿	中国・四国	九州
回答企業数（社）	516	60	147	77	99	77	56
店舗数（店）	3,972	619	1,653	420	741	276	263
平均仕入数量（kg）	6,328	5,099	8,190	5,180	5,524	3,726	4,342
総計（％）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
牛肉	17.5	20.2	13.4	18.6	24.4	29.1	22.3
国産牛肉	8.7	7.8	4.7	11.3	15.0	24.9	15.4
和牛	4.5	2.5	2.8	5.2	8.5	12.5	6.9
乳牛	3.0	4.7	1.2	5.1	4.9	9.6	3.8
その他国産	1.2	0.6	0.8	1.0	1.6	2.9	4.7
輸入牛肉	8.9	12.4	8.6	7.3	9.3	4.1	6.9
アメリカ産	4.8	10.3	4.3	2.9	3.9	2.5	4.7
オーストラリア産	4.1	2.2	4.4	4.4	5.4	1.7	2.2
豚肉	46.2	49.2	48.3	50.1	42.9	34.3	28.7
国産豚肉	38.4	41.4	40.1	41.1	35.3	31.1	22.8
輸入豚肉	7.8	7.8	8.2	9.0	7.6	3.3	5.9
鶏肉	36.2	30.6	38.3	31.3	32.7	36.6	49.0
国産鶏肉	31.4	27.6	32.7	24.8	28.5	35.2	44.9
輸入鶏肉	4.9	2.9	5.6	6.4	4.2	1.4	4.1

注：牛肉・豚肉の枝肉は部分肉ベース（歩留まり70%）として換算

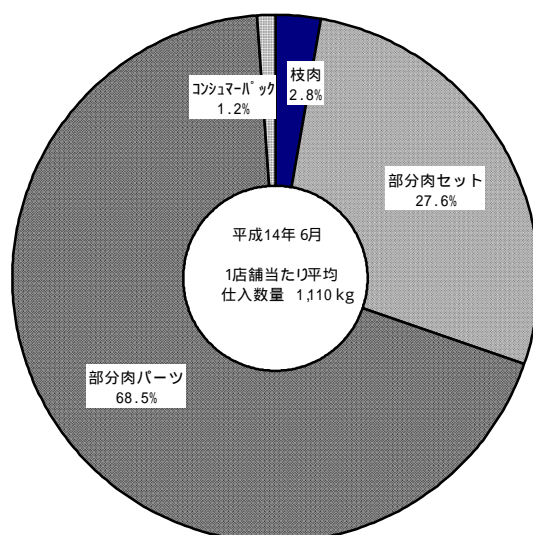
## 2 牛肉の仕入動向

### (1)牛肉の仕入構成

#### 形態別仕入構成

牛肉の形態別仕入割合は、食肉小売店全体では部分肉パーツが 68.5 % ( 前回 79.2 % )、部分肉セットが 27.6 % ( 前回 17.0 % ) となっており、部分肉パーツ仕入れが主体となっている。また、枝肉は 2.8 % ( 前回 3.7 % )、コンシューマーパック<sup>注1</sup>は 1.2 % ( 前回 0.1 % ) であった ( 図 2 - 1 )。ここでいうコンシューマーパックは、他社からの仕入れに限定したので留意していただきたい。

図 2 - 1 牛肉の形態別仕入割合

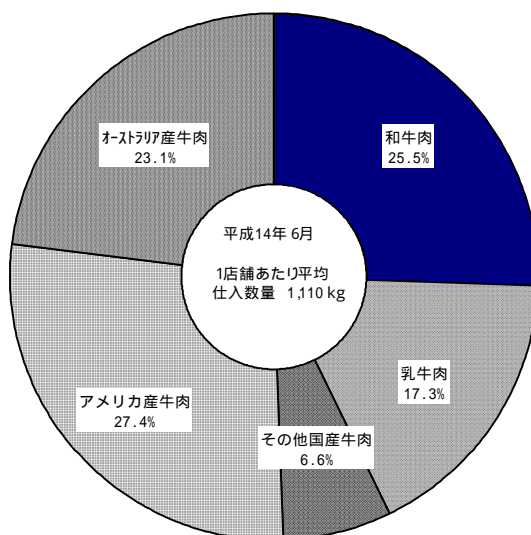


注1) 本調査は、本社あるいは本部に対し、形態別仕入数量を調査したものである。自社でコンシューマーパックを店舗以外の場所で一括して製造する場合、仕入れ形態は部分肉が主体となり、コンシューマーパック仕入には含めていない。なお、コンシューマーパックは自社あるいは系列での取り組みが多くみられ、その割合は、牛肉全体の 16.8 % であった。業態別にみると、専門店が 4.8 %、スーパーが 16.5 %、生協が 29.9 % であった。

## 種類別仕入構成

牛肉の種類別仕入割合は、食肉小売店全体ではアメリカ産牛肉が 27.4 % (前回 23.5 % )、和牛肉が 25.5 % (前回 30.3 % )、オーストラリア産牛肉が 23.1 % (前回 22.6 % )、乳牛肉が 17.3 % (前回 18.3 % )、その他国産牛肉が 6.6 % (前回 5.3 % )であった。なお、国産と輸入の割合は、49 %対 51 % (前年 54 %対 46 % )と調査開始以来初めて輸入牛肉が国産牛肉を上回った。

図 2 - 2 牛肉の種類別仕入割合



## 和牛肉

1店舗当たりの平均仕入数量は 283kg (前回 202kg)であった。形態別内訳は部分肉セットが 51.5 % (前回 28.2 % )と最も高く、次いで、部分肉パーツが 40.8 % (前回 60.6 % )、枝肉が 7.1 % (前回 11.0 % )、コンシューマーパックが 0.7 % (前回 0.2 % )であった。

専門店では 1店舗当たり平均仕入数量は 339kg (前回 272kg)で形態別にみると枝肉が 40.1 % (前回 44.4 % )、部分肉セットが 18.1 % (前回 18.1 % )、部分肉パーツが 41.5 % (前回 37.5 % )となっており、枝肉の割合が他業態と比べて高い。スーパーでは 1店舗当たり平均仕入数量は 282kg (前回 191kg)で、形態別にみると部分肉セットが 56.8 % (前回 32.0 % )、部分肉パーツが 40.8 % (前回 65.9 % )、枝肉は 1.6 % (前回 1.9 % )

コンシューマーパックは 0.8 % ( 前回 0.2 % ) であった。生協では 1 店舗当たり平均仕入数量は 126kg ( 前回 157kg ) で形態別にみると部分肉セットが 64.6 % ( 前回 17.9 % ) で最も高く、次いで、部分肉パーツが 34.5 % ( 前回 82.1 % ) となっている。以上のように、業態により仕入形態が大きく異なっている ( 表 2 - 4 )。

表 2 - 4 和牛肉の仕入状況 ( 1 店舗当たり )

	平均	専門店	スーパー	生協
仕入企業数 ( 社 )	490	384	98	8
店舗数 ( 店 )	3,915	449	3,330	136
平均仕入数量 ( kg )	283	339	282	126
総計 ( % )	100.0	100.0	100.0	100.0
枝肉	7.1	40.1	1.6	0.6
部分肉セット	51.5	18.1	56.8	64.6
部分肉パーツ	40.8	41.5	40.8	34.5
コンシューマーパック	0.7	0.3	0.8	0.3

注：枝肉は部分肉ベース ( 歩留まり 70% ) として換算

## 乳牛肉

1 店当たりの平均仕入数量は 192kg ( 前回 122kg ) であった。形態別内訳は部分肉パーツが 58.9 % ( 前回 74.6 % )、次いで部分肉セットが 34.1 % ( 前回 23.9 % )、以下、枝肉が 4.5 % ( 前回 1.3 % )、コンシューマーパックが 2.4 % ( 前回 0.2 % ) となっている。乳牛肉は和牛肉と比べて部分肉パーツ流通が主体となっている。

専門店では 1 店舗当たり平均仕入数量は 38kg ( 前回 29kg ) とかなり少ない。形態別にみると部分肉パーツが 60.2 % ( 前回 66.6 % )、枝肉が 31.3 % ( 前回 25.3 % )、部分肉セットが 8.4 % ( 前回 8.1 % ) であった。スーパーでは 1 店舗当たり平均仕入数量は 206kg ( 前回 129kg ) であった。形態別にみると部分肉パーツが 58.0 % ( 前回 76.9 % )、部分肉セットが 36.2 % ( 前回 22.5 % ) 等となっている。生協では 1 店舗当たり平均仕入数量は 388kg ( 前回 257kg ) で形態別にみると部分肉パーツが 70.1 % ( 前回 63.3 % )、部分肉セットが 17.3 % ( 前回 36.1 % ) 等となっている ( 表 2 - 5 )。

表2 - 5 乳牛肉の仕入状況（1店舗当たり）

	平均	専門店	スーパー	生協
仕入企業数（社）	134	66	61	7
店舗数（店）	2,943	91	2,716	136
平均仕入数量(kg)	192	38	206	388
総計（％）	100.0	100.0	100.0	100.0
枝肉	4.5	31.3	3.1	12.5
部分肉セット	34.1	8.4	36.2	17.3
部分肉パーツ	58.9	60.2	58.0	70.1
コンシューマーパック	2.4	-	2.7	0.1

注：枝肉は部分肉ベース（歩留まり70%）として換算

### その他国産牛肉

1店舗当たり平均仕入数量は74kg（前回35kg）であった。形態別内訳は部分肉セットが48.9%（前回10.8%）、部分肉パーツが46.7%（前回87.3%）、次いで枝肉が2.6%（前回1.9%）となっている。

専門店では1店舗当たり平均仕入数量は44kg（前回29kg）で、形態別にみると部分肉パーツが79.9%（前回87.4%）を占め、以下、枝肉が11.5%（前回1.9%）、部分肉セットが8.6%（前回10.7%）となっている。スーパーでは1店舗当たり平均仕入数量78kg（前回39kg）で、形態別にみると部分肉セットが51.3%（前回11.0%）、部分肉パーツが44.7%（前回87.1%）、枝肉が2.0%（前回2.0%）となっている。生協では1店舗当たり平均仕入数量は76kg（前回7kg）で形態別では部分肉セットが66.5%、部分肉パーツが33.1%等となっている（表2 - 6）。

表2 - 6 その他国産牛肉の仕入状況（1店舗当たり）

	平均	専門店	スーパー	生協
仕入企業数（社）	80	45	30	5
店舗数（店）	1,323	73	1,140	110
平均仕入数量(kg)	74	44	78	76
総計（％）	100.0	100.0	100.0	100.0
枝肉	2.6	11.5	2.0	0.3
部分肉セット	48.9	8.6	51.3	66.5
部分肉パーツ	46.7	79.9	44.7	33.1
コンシューマーパック	1.8	-	2.0	-

注：枝肉は部分肉ベース（歩留まり70%）として換算

## アメリカ産牛肉

1 店舗当たり平均仕入数量は 304kg（前回 157kg）であった。形態別内訳は部分肉パーツ仕入が 91.4 %（前回 97.8 %）を占めている。アメリカ産牛肉の輸入は部分肉パーツが主体である。

業態別についてみると、専門店では 1 店舗当たり平均仕入数量 97kg（前回 89kg）、スーパーでは 1 店舗当たり平均仕入数量 343kg（前回 181kg）、生協では 1 店舗当たり平均仕入数量 47kg（前回 54kg）で概ねパーツ仕入主体となっている（表 2 - 7）。

表 2 - 7 アメリカ産牛肉の仕入状況（1 店舗当たり）

	平均	専門店	スーパー	生協
仕入企業数（社）	171	86	80	5
店舗数（店）	3,324	136	3,074	114
平均仕入数量(kg)	304	97	343	54
総計（%）	100.0	100.0	100.0	100.0
枝肉	-	-	-	-
部分肉セット	7.4	4.3	7.4	16.8
部分肉パーツ	91.4	95.7	91.3	83.2
コンシューマパック	1.2	-	1.2	-

注：枝肉は部分肉ベース（歩留まり70%）として換算

## オーストラリア産牛肉

1 店当たり平均仕入数量は 257kg（前回調査 151kg）であった。形態別内訳は部分肉パーツが 85.2 %（前回 86.5 %）を占め、次いで部分肉セットが 14.2 %（前回 13.3 %）等となっている。オーストラリア産牛肉はセット輸入が主体であるため、アメリカ産牛肉と比べて部分肉セットの割合が高い（表 2 - 8）。

業態別についてみると専門店では 1 店舗当たり平均仕入数量 107kg（前回 94kg）、スーパーでは 1 店舗当たり平均仕入数量 285kg（前回 159kg）、生協では 1 店舗当たり平均仕入数量 100kg（前回 193kg）であった。国別内訳についてみると、専門店と生協ではアメリカ産よりオーストラリア産牛肉が多いのに対し、スーパーではアメリカ産牛肉が多い。



表 2 - 8 オーストラリア産牛肉の仕入状況（1店舗当たり）

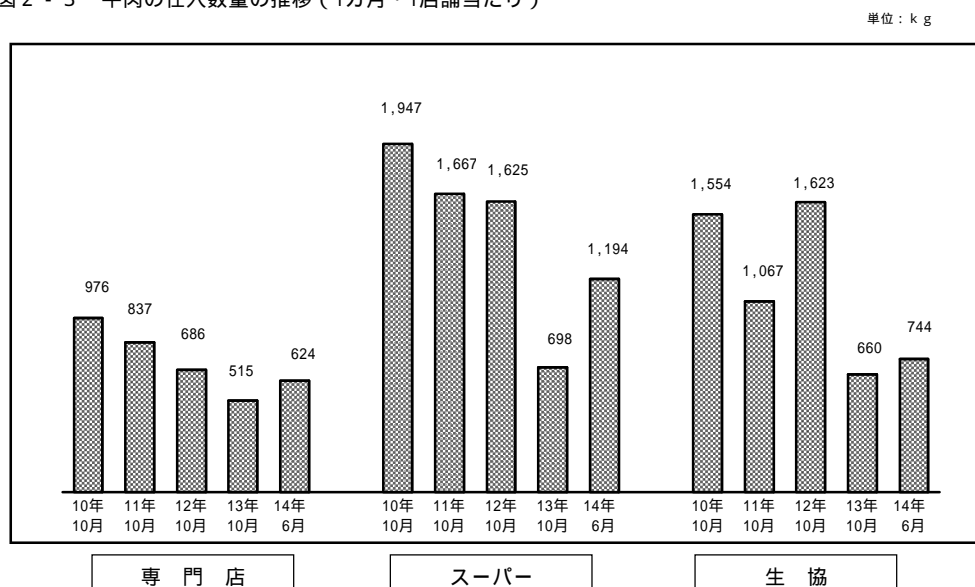
	平均	専門店	スーパー	生協
仕入企業数（社）	157	83	69	5
店舗数（店）	2,998	128	2,755	115
平均仕入数量(kg)	257	107	285	100
総計（％）	100.0	100.0	100.0	100.0
枝肉	-	-	-	-
部分肉セット	14.2	7.2	14.0	57.9
部分肉パーツ	85.2	92.8	85.4	42.1
コンシューマパック	0.6	-	0.6	-

注：枝肉は部分肉ベース（歩留まり70%）として換算

## (2)業態別にみた牛肉の仕入構成

業態別の1店舗当たり平均仕入数量（6月・1カ月）は、専門店が624kg、スーパーが1,194kgであった（図2-3）。過去からの推移をみると、専門店、スーパーともに平成10年10月から減少傾向で推移しており、13年10月はBSE発生の影響により大幅に減少したが、回復基調にあることがうかがえる。

図 2 - 3 牛肉の仕入数量の推移（1カ月・1店舗当たり）



## 専門店

専門店における牛肉の形態別仕入構成の推移を図2 - 4に示した。部分肉パーツが62.5%（前回59.9%）、枝肉が24.5%（前回25.1%）、部分肉セットが12.9%（前回15.0%）であった。部分肉パーツの割合が上昇し、枝肉が低下している。

次に専門店における牛肉の種類別仕入構成の推移を図2 - 5に示した。和牛肉が54.3%（前回52.9%）と最も高く、オーストラリア産牛肉が17.1%（前回18.4%）、アメリカ産牛肉が15.5%（前回17.3%）、その他国産牛肉が7.0%（前回5.7%）、乳牛肉が6.1%（前回5.7%）であった。

図2 - 4 専門店における牛肉の仕入構成の推移（形態別）

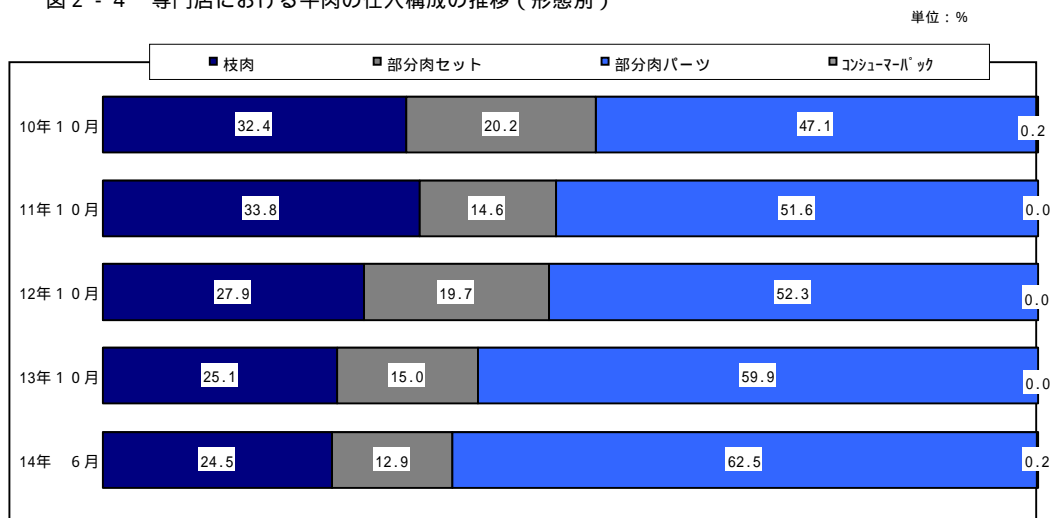
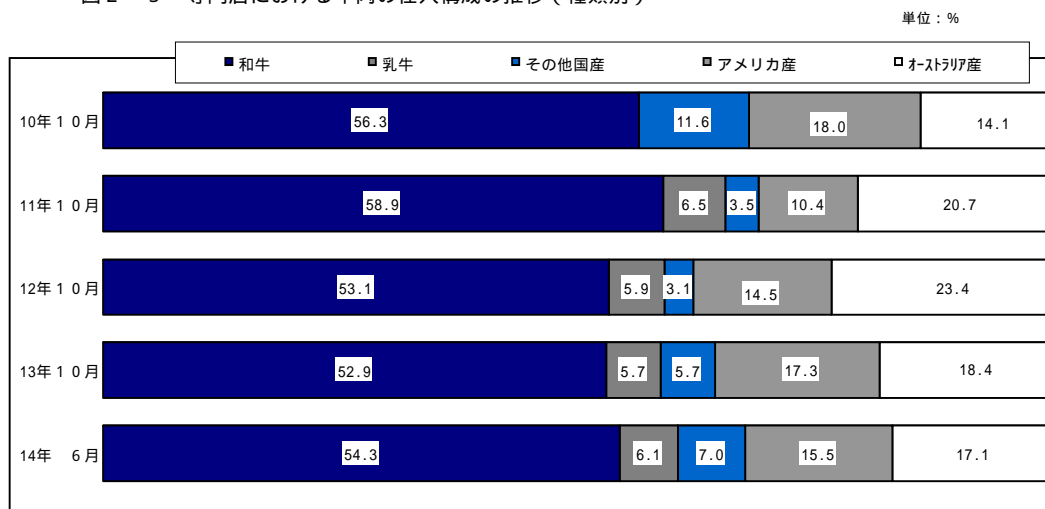


図2 - 5 専門店における牛肉の仕入構成の推移（種類別）



注：平成10年10月調査のその他国産牛肉は乳牛を含む。

## スーパー

スーパーにおける牛肉の形態別仕入構成の推移を図2 - 6に示した。部分肉パーツが69.2%（前回84.1%）を占め、部分肉セットが28.5%（前回15.1%）、以下、枝肉1.1%（前回0.7%）、コンシューマーパックが1.3%（前回0.2%）となっている。ほぼ部分肉での仕入となっている。

次にスーパーにおける牛肉の種類別仕入構成の推移を図2 - 7に示した。アメリカ産牛肉が28.8%（前回25.8%）で最も高く、次いで、オーストラリア産が23.8%（前回22.7%）、和牛肉が23.6%（前回27.4%）、乳牛肉が17.2%（前回18.5%）、その他国産牛肉が6.5%（前回5.6%）であった。過去の推移をみると、輸入牛肉の増加が著しくなっており、今回調査では輸入牛肉が国産牛肉を上回った。

図2 - 6 スーパーにおける牛肉の仕入構成の推移（形態別）

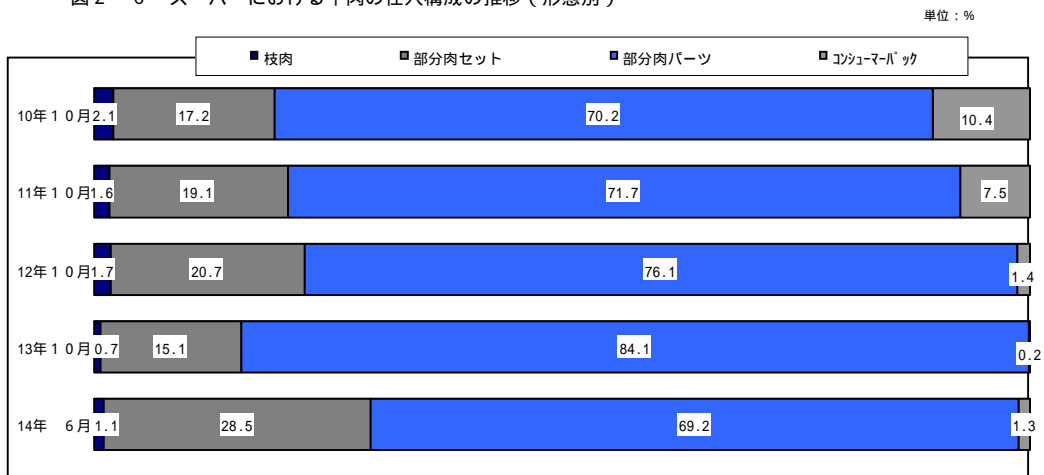
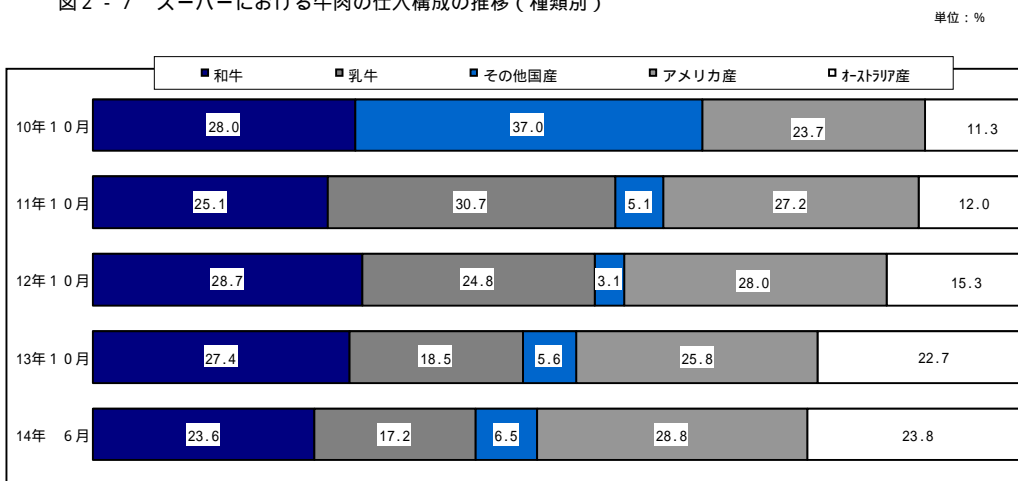


図2 - 7 スーパーにおける牛肉の仕入構成の推移（種類別）



注：平成10年10月調査のその他国産牛肉は乳牛を含む。

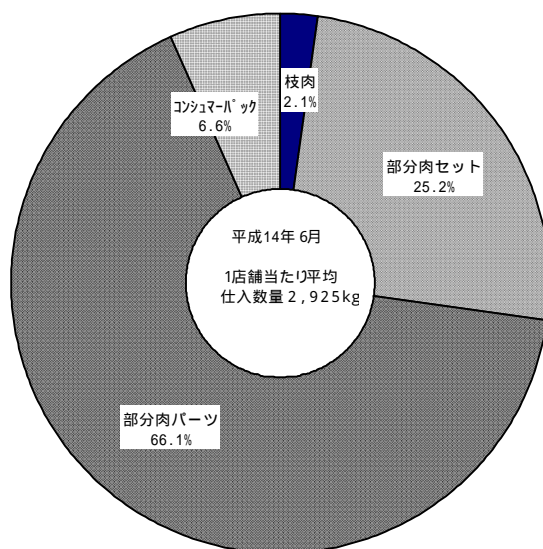
### 3 豚肉の仕入動向

#### (1) 豚肉の仕入構成

##### 形態別仕入構成

豚肉の形態別仕入割合を図2 - 8に示した。食肉小売店全体では部分肉パーツが66.1%（前回66.6%）、部分肉セットが25.2%（前回28.2%）、枝肉が2.1%（前回4.1%）、コンシューマーパック<sup>注2</sup>が6.6%（前回1.1%）であった。豚肉の仕入形態は牛肉同様に部分肉が主流となっており、セット仕入の割合も比較的高い。

図2 - 8 豚肉の形態別仕入割合

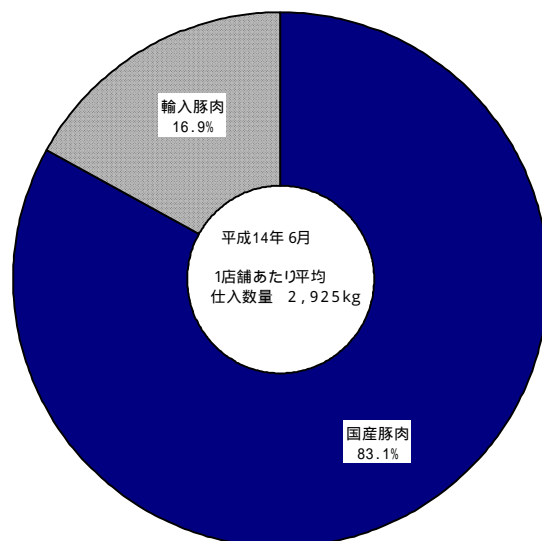


注2) 本調査は、本社あるいは本部に対し、形態別仕入数量を調査したものである。自社でコンシューマーパックを店舗以外の場所で一括して製造する場合、仕入れ形態は部分肉が主体となり、コンシューマーパック仕入には含めていない。なお、コンシューマーパックは自社あるいは系列での取り組みが多くみられ、その割合は、豚肉全体の20.1%であった。業態別にみると、専門店が6.7%、スーパーが18.1%、生協が31.0%であった。

## 国産輸入別仕入構成

豚肉の国産と輸入についての仕入割合を図2 - 9に示した。食肉小売店全体では国産豚肉が83.1%（前回82.6%）、輸入豚肉が16.9%（前回17.4%）となっている。

図2 - 9 豚肉の種類別仕入割合



## 国産豚肉

1店当たりの平均仕入数量は2,430kg（前回2,266kg）となっている。形態別内訳は部分肉パーツが61.6%（前回60.0%）で最も高く、部分肉セットが29.0%（前回33.8%）、コンシューマーパックが6.9%（前回1.4%）、枝肉が2.5%（前回4.9%）であった。

専門店では1店舗当たり平均仕入数量692kg（前回903kg）で形態別にみると部分肉パーツが50.0%（前回40.0%）、枝肉が32.8%（前回37.4%）、部分肉セットが17.1%（22.6%）等となっている。専門店では枝肉が比較的高い。スーパーでは1店舗当たり平均仕入数量2,693kg（前回2,596kg）で形態別にみると部分肉パーツが63.6%（前回64.4%）、部分肉セットが27.6%（前回31.3%）等となっている。生協では1店舗当たり平均仕入数量1,983kg（前回1,754kg）で形態別にみると部分肉セットが87.2%（前回88.0%）、部分肉パーツが12.8%（前回11.8%）等となっている。

以上、業態によって形態別構成比が大きく異なっている（表2 - 9）。

表 2 - 9 国産豚肉の仕入状況（1店舗当たり）

	平均	専門 小売店	スーパー	生協
仕入企業数（社）	508	399	100	9
店舗数（店）	3,946	465	3,337	144
平均仕入数量(kg)	2,430	692	2,693	1,983
総計（％）	100.0	100.0	100.0	100.0
枝肉	2.5	32.8	1.5	0.0
部分肉セット	29.0	17.1	27.6	87.2
部分肉パーツ	61.6	50.0	63.6	12.8
コンシューマパック	6.9	-	7.4	0.0

注：枝肉は部分肉ベース（歩留まり70%）として換算

### 輸入豚肉

1店舗当たりの平均仕入数量は494g（前回476kg）であった。形態別内訳は部分肉パーツが88.3%（前回97.7%）を占め部分肉パーツが主体となっている。業態別では専門店が1店舗当たり平均仕入数量173kg（195kg）、スーパーは1店舗当たり平均仕入数量557kg（前回569kg）、生協は1店舗当たり平均仕入数量84kg（前回97kg）で各業態とも増加している（表2-10）。

表 2 - 10 輸入豚肉の仕入状況（1店舗当たり）

	平均	専門 小売店	スーパー	生協
仕入企業数（社）	181	99	78	4
店舗数（店）	3,414	149	3,156	109
平均仕入数量(kg)	494	173	557	84
総計（％）	100.0	100.0	100.0	100.0
枝肉	0.0	0.7	-	-
部分肉セット	6.9	4.2	6.4	89.7
部分肉パーツ	88.3	95.1	88.5	10.3
コンシューマパック	4.8	-	5.0	-

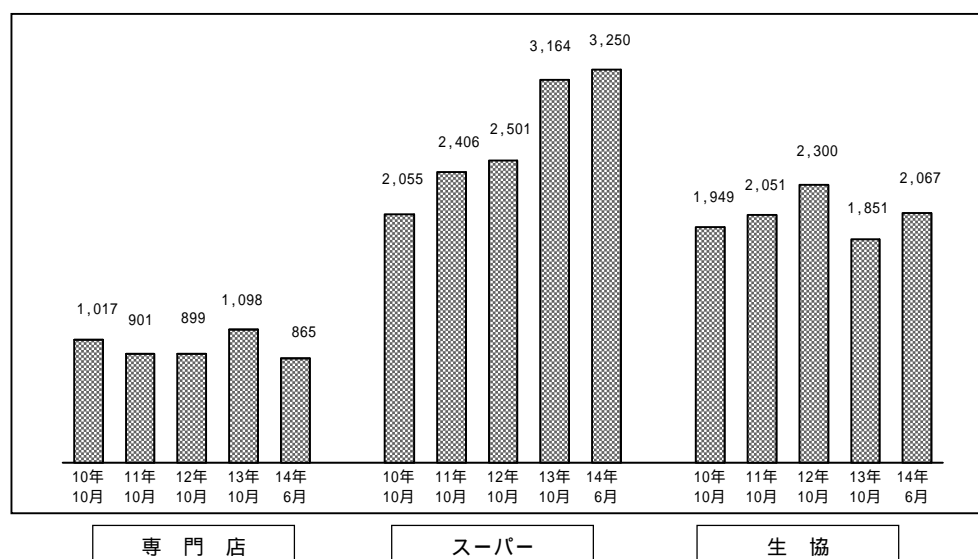
注：枝肉は部分肉ベース（歩留まり70%）として換算

## (2)業態別にみた豚肉の仕入構成

業態別の1店舗当たり平均仕入数量は、専門店が865kg、スーパーが3,250kgであった。過去からの推移をみると、スーパーでは一貫して増加傾向となっている(図2-10)

図2-10 豚肉の仕入数量の推移(1カ月・1店舗当たり)

単位: kg



### 専門店

専門店における豚肉の形態別仕入構成の推移を図2-11に示した。部分肉パーツが59.0%(前回49.1%)、枝肉が26.4%(前回31.0%)、部分肉セットが14.5%(前回19.9%)となっており、牛肉同様に枝肉の割合が他の業態と比べて高いのが特徴である。過去の推移をみると、部分肉パーツの上昇、枝肉の低下がみられる。部分肉流通が進展している状況がうかがえる。

次に、専門店における豚肉の国産と輸入についての仕入構成の推移を図2-12に示した。国産豚肉が80.0%(前回82.2%)、輸入豚肉が20.0%(前回17.8%)となっている。輸入は上昇傾向にある。

図2 - 1 1 専門店における豚肉の仕入構成の推移（形態別）

単位：%

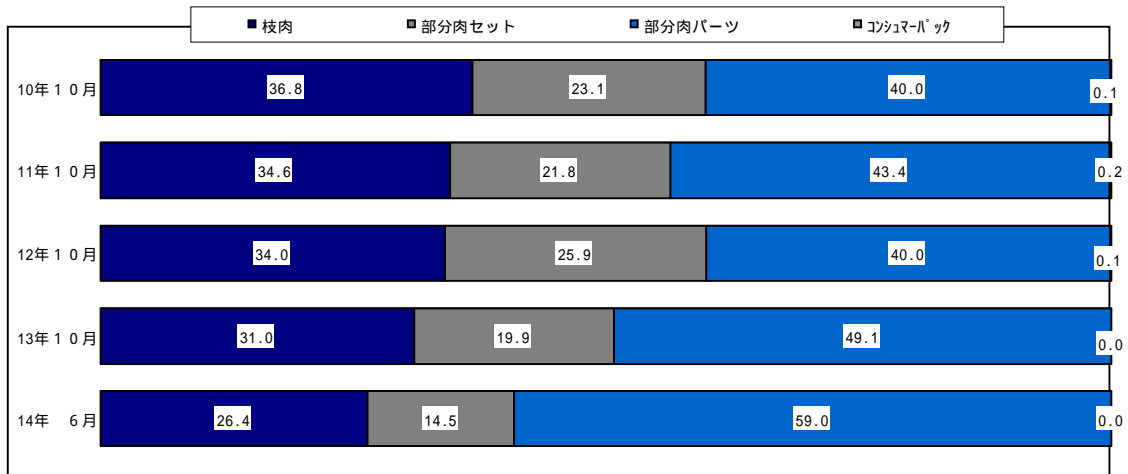


図2 - 1 2 専門店における豚肉の仕入構成の推移（国産・輸入別）

単位：%



### スーパー

スーパーにおける豚肉の仕入形態別構成の推移は図2 - 1 3 に示した。部分肉パーツが67.8%（前回84.1%）、部分肉セットが23.9%（前回15.1%）、コンシューマーパックが7.0%（前回0.2%）、枝肉が1.2%（前回0.7%）であった。部分肉流通が主体となっている。

スーパーにおける豚肉の国産と輸入についての仕入構成の推移を図2 - 1 4 に示した。国産豚肉82.9%（前回82.0%）、輸入豚肉が17.1%（前回18.0%）となっている。



図 2 - 1 3 スーパーにおける豚肉の仕入構成の推移（形態別）

単位：%

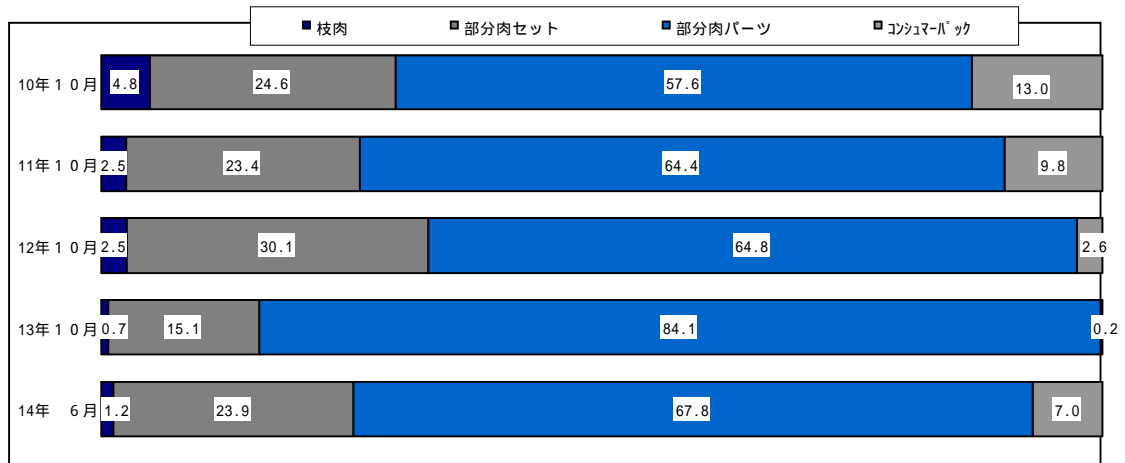
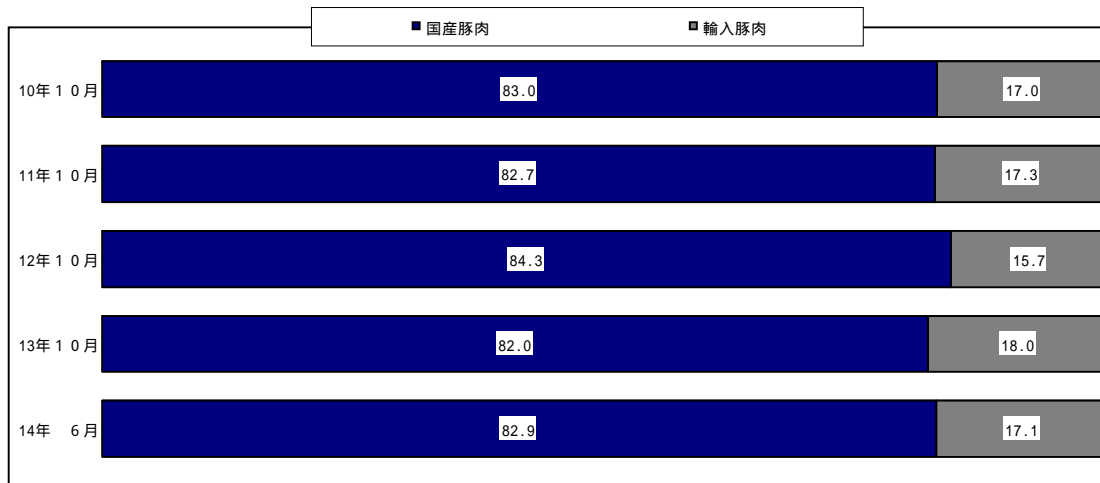


図 2 - 1 4 スーパーにおける豚肉の仕入構成の推移（国産・輸入別）

単位：%

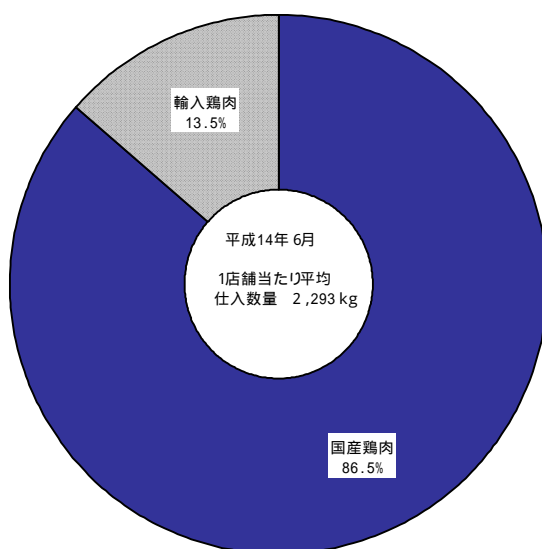


## 4 鶏肉の仕入動向

### (1)国産輸入別仕入数量

鶏肉の国産と輸入についての仕入割合を図2 - 15に示した。食肉小売店全体では国産鶏肉が86.5%（前回91.7%）、輸入鶏肉が13.5%（前回8.3%）であった。鶏肉は輸入の割合が牛肉、豚肉と比べて低い。

図2 - 15 鶏肉の国産・輸入別仕入割合

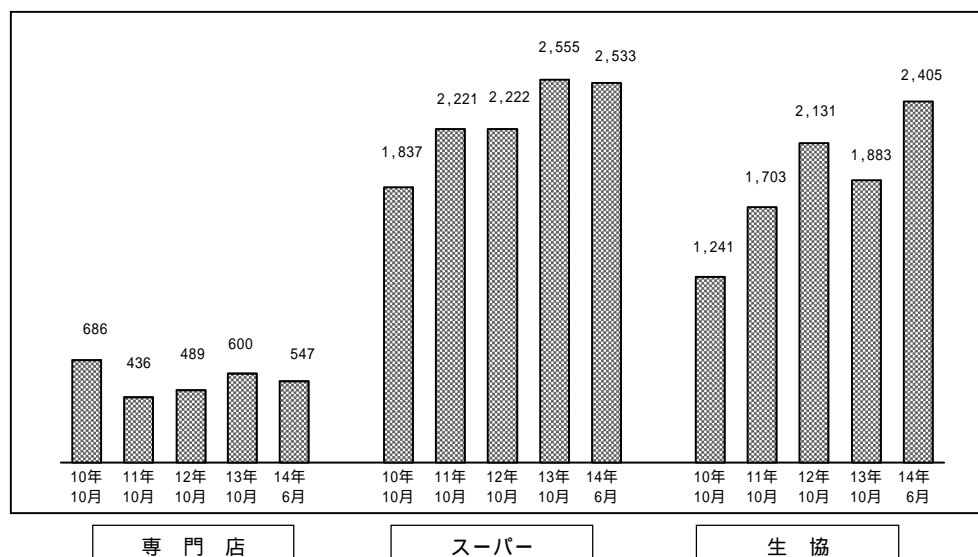


### (2)業態別にみた鶏肉の仕入構成

業態別の1店舗当たり平均仕入数量は、専門店が547kg、スーパーが2,682kgであった（図2 - 16）。専門店ではかなり少ない。過去の推移をみると、スーパーでは増加傾向となっている。

図2 - 16 鶏肉の仕入数量の推移（1カ月・1店舗当たり）

単位：kg



### 専門店

専門店における鶏肉の国産品と輸入品の仕入構成の推移を図2 - 17に示した。国産鶏肉が82.7%（前回82.2%）、輸入鶏肉が17.3%（前回17.8%）となっている。専門店では牛肉と異なりスーパーや生協と比べて輸入品の割合が高い。

### スーパー

スーパーにおける鶏肉の国産品と輸入品の仕入構成の推移を図2 - 18に示した。国産鶏肉が86.3%（前回91.6%）、輸入鶏肉が13.7%（前回8.4%）であった。過去からの推移をみると、輸入鶏肉の割合がやや上昇した。

### 生協

生協における鶏肉の国産品と輸入品の仕入構成の推移を図2 - 19に示した。国産鶏肉が95.1%（前回99.2%）、輸入鶏肉が4.9%（前回0.8%）であった。生協では他の業態と比べて輸入鶏肉の割合が低くなっている。

図2 - 17 専門店における鶏肉の仕入構成の推移（国産・輸入別）

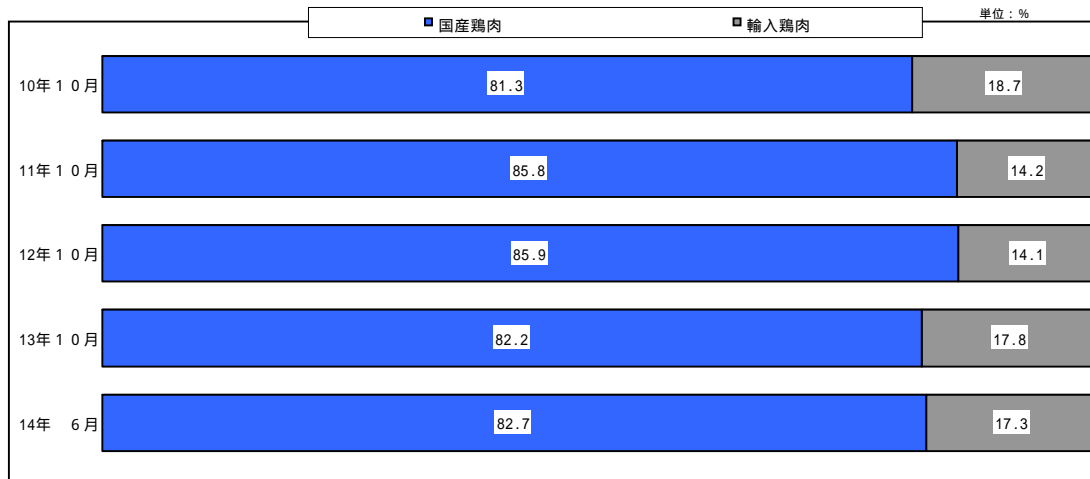


図2 - 18 スーパーにおける鶏肉の仕入構成の推移（国産・輸入別）

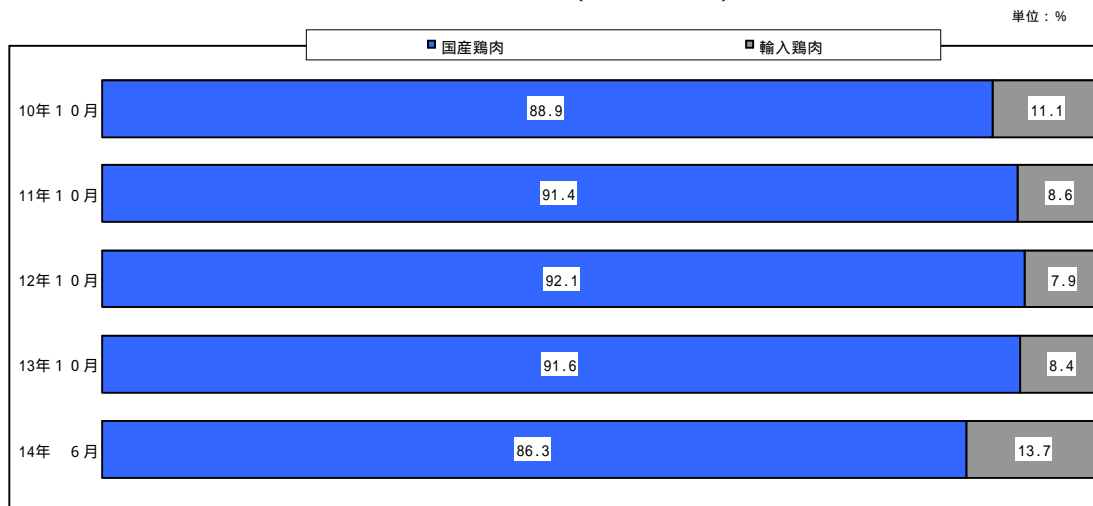


図2 - 19 生協における鶏肉の仕入構成の推移（国産・輸入別）

